

遠隔授業化するための 3 つのポイント

1 授業スタイルの遠隔授業化

- 授業形態を知識伝達から考える授業へ
- 授業の主体を講師から講師+先生へ
- オフィスの様子や会社の様子も伝えることが可能



プロ学 ができること

- 教材開発
- 遠隔授業に向けた教材修正

2 遠隔授業に対応した事務局運営

- 募集・調整・実施の流れは変わらない！
- 授機材の配送とタブレット等のメンテナンス
- 機材設置方法等のガイドブックの作成

よくある遠隔授業でのトラブルとその対策

(1) 通信状況が悪くて授業ができない

対策 プロ学では、学校へポケット Wi-Fi の貸出をしています。
(学校の Wi-Fi は zoom や LINE などのビデオ通話アプリに使用制限がかかっていることがあります)

(2) 先生側がタブレットの使い方が分からない

対策 使用ガイドの作成 (使用手順等をマニュアル化することで、先生が対応できます)
昨年は、先生側の遠隔操作に関するトラブル「ゼロ」
* 企業側のマニュアルもあります

(3) いきなり本番だと不安すぎる...

対策 プロ学では、前日に遠隔で打ち合わせ & 通信テストの実施を推奨しています。心理的不安が軽減し、学校側も企業側も授業に集中することができます。

プロ学 ができること

- 事務局運営の業務委託
- ガイドブック等の知見共有

3 遠隔授業用機材の準備

最低限必要な準備物一覧 (プロ学が実施する遠隔授業における)

学校側: 教師用 iPad・iPad 用三脚・ポケット Wi-Fi・充電器・スピーカー など
企業側: タブレット (カメラ、WEB 会議システムを兼ねる)・三脚・マイク・Wi-Fi



遠隔授業時の企業の様子

遠隔授業のソフトは？

無料通話アプリを活用し、LINE のビデオ通話が一番手軽で誰もが使うことができます。パワポ教材や動画教材がある場合は zoom や teams の慣れている方を推奨しています。

プロ学 ができること

- 機材貸出
- 機材設置方法の相談

いま、この機会に 遠隔出張授業へ変えてみませんか？

1 時間コストの削減

直接行く手間が省け、社内から実施可能
社内から実施できるため、色々な人を巻き込める

2 全国どこでも実施できる

地理的制約により断っていた学校も実施可能に

3 今までの出張授業と併用できる

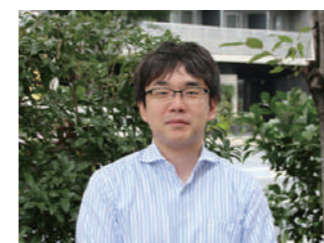
都心部も今まで通り実施可能！

これまでの実践校



「プロ学」では、山間地や離島の学校とも数多く遠隔授業を実施してきました。

Message



静岡大学教育学部 准教授
プロフェッショナルをすべての学校に
代表: 塩田 真吾
専門: ICT・遠隔授業・授業デザイン

現在、多くの学校では5月末までの休校延長が決定・検討されています。また、学校が再開された場合でも、これまで通りの授業は難しく、3密やソーシャルディスタンスに配慮した授業が求められます。このような状況で、少なくとも夏休み前まで、長引く場合は来年3月までの出張授業の受け入れは難しいと考えられます。

しかし、子どもたちの学びを止めるわけにはいきません。このような状況だからこそ、学校の先生だけでなく、様々なプロフェッショナルと「(直接ではない形で) 触れ合う」ことは重要です。さらに、子どもたちは在宅授業等で「インプット型の学習」に囲まれています。もちろん知識を入力することは重要ですが、それをもとに自分の意見やアイデアを考え発表し、プロと議論する学習経験はさらに重要になるはずで

私たちは、静岡大学教育学部を基盤として、これまで「遠隔出張授業」を専門に研究、実践を行ってきました。こうした知見を今こそ活かし、様々な企業の出張授業を遠隔で実施するためのお手伝いをさせていただきたいと思っております。ぜひ協働での遠隔出張授業をご検討いただければ幸いです。

『一般社団法人 プロフェッショナルをすべての学校に』は、
企業の出張授業を遠隔化するサポートをしています。
お気軽に、ご相談・お問合せください。

- 大学を基盤とした質の高さ
- お支払い柔軟に対応できます

プロ学 Professionals for All Schools
一般社団法人
プロフェッショナルを
すべての学校に

担当: 事務局長 安永 E-mail: shizuoka.shiota.lab@gmail.com TEL&FAX: 054-238-4673

詳しくは 「プロフェッショナルをすべての学校に」 検索